

平成28・29年度 川崎市教育委員会研究推進校

川崎市立橘中学校

外国語（英語）研究報告会

公開授業 学習指導案

平成29年11月24日（金）

学級	授業者	授業会場
1年5組	倉坂 光 教諭	1年5組教室（A棟4階）
2年5組	山川 知恵子 教諭	2年5組教室（A棟3階）
3年5組	中屋敷 康子 教諭	3年5組教室（A棟2階）

日程

13:00 13:25 14:15 14:30 16:30

受 付	公開授業① 1年生 倉坂 光教諭	休憩	研究報告会・研究会議 （本校武道場） 指導・助言者 英語科部会長 金子 勉先生 担当指導主事 鬼頭洋司先生
	公開授業② 2年生 山川 知恵子教諭		
	公開授業③ 3年生 中屋敷 康子教諭	移動	

外国語(英語)科 学習指導案

指導者 倉坂 光

1. 学級・場所 1年5組(39名) 第5校時(13:25~14:15)

2. 学級 1年5組(39名) 場所<1年5組教室>

男女の仲が良く意欲的な姿勢で学習に取り組むことができる生徒が多い。またチャンツやリピートなどを大きな声で言うことができるクラスである。ペアワークやグループワークにも積極的に取り組む生徒が多く、生徒同士が学び合う雰囲気も作りやすい。「書く」活動になると苦手意識が見られる生徒も数名いるが、自信をつけさせ、学習内容の効果的な定着を図るために、帯活動など繰り返しの学習を取り入れるなどの工夫をしていきたい。

3. 単元名(題材名) TOTAL ENGLISH 1 “Chapter 2 project ○○さんを紹介しよう”

4. 単元観

Chapter 2 では各単元を通して be 動詞や一般動詞を用いて、自分以外の人やものを第三者に紹介するための表現について学習してきた。本単元ではそのまとめとして、自分の友達、家族、あこがれの人を友人に紹介する英文を書き、その内容をクラスの人に説明するという活動が設定されている。まとまった内容を相手に英語で伝えたり、相手が話した英語を聞いて理解できたりするという経験を通して、英語を使うことに対する自信をつけさせ、BOOK 1 Project の Show and Tell の活動につながっていくようにしていきたい。

また発信先を意識して目的に合う紹介文を書く活動、協働的な話し合いや発表活動を盛り込むことで、個々の自信と意欲を高め、発話量と発話内容の質のさらなる向上につなげていきたい。

5. 単元の目標

- (1) 自分以外の人について、書いた紹介文をグループの前で聞き手を意識して発表することができる。
- (2) 間違ふことを恐れず、英語で話そうとする。
- (3) 聞き取った内容を理解することができる。
- (4) 目的に応じた紹介文を書くことができる。
- (5) 第三者を紹介するために必要な英文の構造を理解することができる。

※ 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと(発表) -②、(やりとり) -②
書くこと -②、聞くこと -①、読むこと -①

6. 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
① ペアやグループ活動での話し合い活動の中で間違いを恐れず英語で話そうとしている。	① 自分以外の人について書いた紹介文を、グループの前で発表することができる。 ② 目的に応じた紹介文を書くことができる。	① 読んだり聞いたりした内容を理解することができる。	① 第三者を紹介するために必要な英文の構造を理解することができる。

◎「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第1学年)

聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
①友達についての発表を聞いて理解することができる。 ②好きなものや大切なものについての発表内容を正しく聞き取ることができる。 ③短い英文を聞いて、何についての紹介文なのか正しく聞き取ることができる。	①日常生活を表す文を読んで、内容を正しく理解し、時系列に並べることができる。 ②短い伝統文化に関する説明文を読んで、大切な部分を理解することができる。 ③短い物語を読んで、あらすじをつかむことができる。	①自分や自分以外の人やものについて、ALTまたは友人と簡単な会話をすることができる。 ②自分が学習した英語を、話し合いをすすめ、会話をつなぐために用いることができる。 ③グループ内での発表やスピーチを聞いて、その内容について質問・応答をすることができる。	①自分のことについてスピーチとして発表することができる。 ②人を紹介する文をクラスの前で口頭発表することができる。 ③好きなものや大切なものをクラスの前で口頭発表することができる。	①自分のことについて、まとまった文章を書くことができる。 ②人を紹介するまとまった文章を書くことができる。 ③写真や絵に関する簡単な文を書くことができる。

7. 単元の指導計画及び評価計画 *本字は太枠

第1時	○海外留学を希望するクラスメイトを受験先に推薦する英文(紹介文)を書く。 ・教科書 p.80, 81, 巻末見開きページの”Meet My Friends.”を確認し、どんな情報を伝える必要があるかを確認する。 ・マインドマップを活用し、これまで学んだ表現の中で、どんな場面でどの表現が使いそうか確認する。 ・紹介文をノートに書き原稿を作成する。	イー① イー② ウー①	活動の観察 ワークシート 後日 ペーパーテスト
第2時	○海外留学を希望するクラスメイトを受験先に推薦する英文(紹介文)を書く ・文のつながりや構成に留意して、原稿を完成させる	イー① エー① エー②	ワークシート 後日 ペーパーテスト
第3時 (本時)	○海外留学を希望するクラスメイトを受験先に推薦する英文(紹介文)を発表する ・グループの中で、自分が書いた文章を発表する。 ・各班で選んだ生徒について、クラス全体に報告する	アー① イー① ウー①	活動の観察 ワークシート
後日	(スピーキングテスト) ・各自が発表した内容をテーマにして、ALTと会話するテストを受ける	イー①	活動の観察

◎CLILの4C(4つの基本原理)からの単元

① 【Content (内容)】	・自分以外の人やものについての紹介について
② 【Communication (学習言語)】	・新出単語 ・既習単語 ・既習文法
③ 【Cognition (思考活動)】	・自分以外の人やものを紹介する英文について読み取る(理解) ・相手に自分以外の誰かを紹介する英文を考える(創造)
④ 【Community (協学)】 【Culture (文化・国際理解)】	・ペア ・グループ ・クラス

8 本時の学習目標

- ①海外留学を希望しているクラスメイトを受験先に推薦する英文を発表することができる。
- ②聞き手に伝わりやすいよう工夫して発表することができる。

9 本時の展開

※S-S : Students - Students SS : Students (個人の活動) TS : Teacher - Students

時間	指導過程	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入 (15分)	Greeting Words English Chants Introduction	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、日付、曜日等を確認する。TS ・英単語マシーンを見て、教師の後にリポートする TS ・ペアで単語を10個ずつ選び、互いに問題を出し合う S-S ・リズム・音楽に合わせて、英語を発話する SS ・教師が作った紹介文を聞き、教師の質問に答える TS 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の雰囲気を作る。 ・テンポよく確認していく ・発話しやすい雰囲気を作る。 ・テンポよく確認していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動に取り組んでいるか。 ・積極的に活動に取り組んでいるか。 ・積極的に活動に取り組んでいるか。 ・質問の意味を理解しているか。
<p>海外留学を希望しているクラスメイトを受験先に推薦する文(紹介文)を発表しよう</p>				
展開 (30分)	Pair work Group work1 Group work2 Sharing	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の発表原稿を読む、聞いてよくわからない所があれば指摘しあう SS ・6人グループで、個々に作った紹介文をシェアする。S-S ・発表の進行やあいづちなどのやりとりを英語でおこなう S-S ・留学生として選ばれる生徒を誰にするか、個々の発表をもとに話し合って決める。S-S ・班の中で分担をする。S-S ・班でリハーサルを行い、クラスでの発表に向けて準備する。S-S ・班で推薦する生徒がクラス代表に選ばれるよう、内容や伝え方の工夫を話し合う S-S。 ・早く終わった班は、他の班への質問を考える。S-S ・各班から、最優秀に選ばれた人の推薦文を発表する。TS、SS ・推薦文についての質問が出たら、発表班は質問に答える。SS 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の前にやり方・手順を示す ・活動の前にやり方・手順を示す ・負担が偏らないようにする ・苦手な生徒を支援する ・活動の前にやり方・手順を示す ・発表しやすい雰囲気を作る ・できるだけ英語でやりとりさせる ・テンポよく確認していく ・発表しやすい雰囲気を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動に取り組んでいるか。 ・この後の活動内容を理解しているか。 ・班の人とコミュニケーションをとっているか。 ・使用してほしい英語を使って話し合いをすすめられているか。 ・積極的に活動に取り組んでいるか。 ・積極的に発話しようとしているか。 ・班で協力しているか。 ・積極的に発表しようとしているか。 ・積極的に聞こうとしているか。
まとめ (5分)	Can-Do check sheet Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の活動を振り返る SS ・あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気の切り替えする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習ったことを理解しているか。

10 評価

- ①海外留学を希望しているクラスメイトを受験先に推薦する英文を発表することができたか?
- ②聞き手に伝わりやすいよう工夫して発表することができたか?

外国語科(英語)学習指導案

川崎市立 橘中学校
指導者 山川知恵子

1 日時 平成 29 年 11 月 24 日(金) 第 5 校時 (13 : 25 ~ 14 : 15)

2 学級 2 年 5 組(38 名) 場所 < 2 年 5 組教室 >

積極的に授業に取り組もうという意欲のある生徒が多いクラスである。生徒同士の関係も良く、安心して発言できる雰囲気がある。話し合い活動ではそれぞれが活発に活動し、授業では既習の英語を使って積極的に話し合おうと努力する姿がみられる。授業の中でできるだけ英語を通しての活動場面を多く設定することで、英語を使っての話し合いの経験を積み重ねることで、意見を深めていけるようにさせたい。

3 単元名 TOTAL ENGLISH 2 Lesson 6 “ The 3Rs in Germany and Japan ”

4 単元観

この単元では、ドイツからやってきた転校生のエレナが、日本語の「もったいない」という言葉を聞いたことから、ドイツの 3Rs の取り組みについてスピーチをするという場面を通して、身近な環境問題が扱われている。また、何かを説明したり、自分の意見を主張したりするときの表現について学習する。

自分たちの日頃何気なく使っている日本語が、どんな意味を持つものなのかを気付かせるとともに、他教科ですでに学んでいる環境問題について、川崎市の 3Rs への取り組みなどを学習しながら、生徒自身が環境問題について実践できることがないか、自分の意見を簡単な英語を使って発信する機会とさせたい。また、この学習が“Chapter 3 Project 将来の夢”へとつながるように、生徒自身の将来へと考えを深めさせていきたい。

5 単元の目標

- (1) 環境問題(もったいない問題)についての自分の意見を、聞き手に内容が伝わるように発表する。
- (2) 環境問題(もったいない問題)についての提案などを聞き、内容を理解する。
- (3) 間違うことを恐れず、英語で会話を続けようとする。
- (4) 動名詞を用いた文の構造を理解する
- (5) SVOO を用いた文の構造を理解する。
- (6) why で始まる疑問文とその答え方を理解する。

※ 「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと(発表)②・聞くこと②

6 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
① 間違うことを恐れず、英語で会話を続けようとする。	① 環境問題(もったいない問題)についての自分の意見を、聞き手に内容が伝わるように発表することができる。	① 環境問題(もったいない問題)についての提案などを聞き、内容を理解することができる。	① 動名詞を用いた文の構造を理解する。 ② SVOO を用いた文の構造を理解する。 ③ why で始まる疑問文とその答え方を理解する。

◎「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第2学年)

聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
<p>①自分の考えや気持ち、事実などについて、簡単な英語で会話をするができる。</p> <p>②聞いたり読んだりしたことなどについて、簡単な英語で会話をするができる。</p> <p>③あるテーマについて、グループ内で簡単な英語を使って話し合うことができる。</p>	<p>①簡単な英語で書かれたある程度の長さの物語を読んであらすじをつかんだり、まとまった内容の説明文を読んで大切な部分を理解したりすることができる。</p> <p>②簡単な英語で書かれた伝記や手紙などを読み、それが書かれた状況や書き手の意向を理解することができる。</p> <p>③親しみのあるテーマで書かれたある程度の長さの文章を読み、その内容と自分の経験や考えとの関連、またその主張の内容をとらえることができる。</p>	<p>①ゆっくりとした口調で話されたり読まれたりする短い英語を聞き、その内容を正確に理解することができる。</p> <p>②質問や指示、依頼や提案などを聞き、その場面や状況、話し手の意向を理解することができる。</p> <p>③まとまりのある簡単な英語を聞き、その全体の概要や内容の要点を理解することができる。</p>	<p>①自分の考えや気持ち、事実などを、聞き手を意識しながら簡単な英語で伝えることができる。</p> <p>②聞いたり読んだりしたことなどについて、自分の考えを伝えることができる。</p> <p>③自分の考えをもとに、与えられたテーマについて簡単なスピーチをすることができる。</p>	<p>①聞いたり読んだりしたことについて、感想やその理由を簡単な英語で書くことができる。</p> <p>②身近な場面における出来事や体験したことについて、簡単な英語で書くことができる。</p> <p>③自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりや全体としてのまとまりに注意して短い文章を書くことができる。</p>

7 単元指導計画及び評価計画

時間	○ねらい ・ 学習活動	単元の評価規準	評価場面・方法
第1時	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・warm-upとして、TOTAL ENGLISH 1 Lesson 7の書初めの場面を思い出させ、「もったいない」の意味について考えさせる。 ・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
第2時	○【6A】動名詞の表現に留意し、本文の内容を理解する。 ・教科書の挿絵をヒントに、内容について考える。 ・動名詞を用いた文の構造を理解する。	エー①	後日 ペーパーテスト
第3時	○【6A】本文の内容に留意し、3Rsについて考える。① ・QAなどを使いながら、本文の内容を理解する。 ・3Rsの意味について思い出す。(国連の映像を視聴。) ・身近でどんなものがゴミになっているのかを考える。	ウー①	活動の観察
第4時	○【6B】SVOOを用いた表現に留意し、本文の内容を理解する。 ・教科書の挿絵をヒントに、内容について考える。 ・SVOOを用いた文の構造を理解する。	アー① エー②	後日 ペーパーテスト
第5時	○【6B】本文の内容に留意し、3Rsについて考える。② ・QAなどを使いながら、本文の内容を理解する。 ・3Rsにはどんなものがあつたのかを思い出す。(3Rs for Kidsを視聴。)	イー① ウー①	活動の観察
第6時	○【6C】whyで始まる疑問文とその答え方に留意し、本文の内容を理解する。 ・教科書の挿絵をヒントに、内容について考える。 ・whyで始まる疑問文とその答え方を理解する。	アー① エー③	後日 ペーパーテスト
第7時	○【6C】本文の内容に留意し、3Rsについて考える。③ ・QAなどを使いながら、本文の内容を理解する。 ・川崎市のゴミ事情について思い出す。(川崎市の取り組みと3Rを視聴。) ・ごみを減らすにはどうしたらいいのかを考える。	イー① ウー①	活動の観察
第8時 (本時)	○環境問題(もったいない問題)についての自分の意見を発表する。 ・グループ内で環境問題について自分の意見を発表し、それについて応答を行う。 ・ワンガリ・マータイさんのメッセージ映像を視聴する。	イー① ウー①	活動の観察 ワークシート

◎CLILの4C(4つの基本原理)からの単元

① 【Content(内容)】	・環境問題(もったいない問題)について
② 【Communication(学習言語)】	・新出単語・新出文法(動名詞・SVOO・whyで始まる疑問文と答え方) ・既習単語・既習文法
③ 【Cognition(思考活動)】	・「もったいない」や「3Rs」について知る。(理解) ・環境問題(もったいない問題)を考える。(思考)
④ 【Community(協学)】 【Culture(文化・国際理解)】	・ペア ・グループ ・クラス

8 本時の目標

- ① 環境問題(もったいない問題)についての自分の意見を発表する。
- ② 間違うことを恐れず、英語で会話を続けようとする。

9 本時の展開 ※S-S : Students-Students SS : Students(個人の活動)

時間	指導過程	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入 (10分)	Greeting Chant	<ul style="list-style-type: none"> ・英語であいさつをする。 ・CDに合わせてチャンツを歌う。SS 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の雰囲気を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動に取り組んでいるか。
展開 (35分)	学校でどんなものがゴミになっているのか考える	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーとどんなものがゴミになっているのか考える。S-S 	<ul style="list-style-type: none"> ・例を示して、活動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーと協力しながら、活動に取り組んでいるか。
	『もったいない問題』について考える 自分の意見を発表する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 学校の『もったいない問題』について考えよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本当にゴミとして捨てていいのか、グループで意見交換する。S-S ・何人かの生徒の意見を聞いて、自分の意見をキーワードカードにまとめる。SS ・キーワードカードを見ながら、自分の意見を言う練習をする。SS ・4人グループで、お互いに意見を交換する。S-S <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> We have to reduce plastic bottles. So I have to use my bottle when I drink water. I'll wash it after school every day. </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで何人かが発表する。 ・クラスで実践できる案を3つ選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、生徒を支援する。 ・例を示して、活動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った文章を考えようとしているか。 ・既習の表現を積極的に使おうとしているか。
まとめ (5分)	Conclusion Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を CAN-DO Check で振り返る。SS ・あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、生徒を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何ができるようになったのか、きちんと振り返ろうとしているか。

10 本時の評価

- ① 環境問題(もったいない問題)についての自分の意見を発表できたか。
- ② 間違うことを恐れず、英語で会話を続けようとしたか。

外国語科(英語)学習指導案

川崎市立橋中学校
指導者 中屋敷 康子

1 日時 平成 29 年 11 月 24 日(金) 第 5 校時 (13 : 25~14 : 15)

2 学級 3 年 5 組(36 名) 場所<3 年 5 組教室>

全体的に授業中の発言も多く、意欲的に活動に参加しようとする生徒が多い。また英語を話す活動にも慣れてきており、自分のことを英語で伝えようとする前に前向きに取り組んでいる。しかし一方で英語に対して苦手意識がある生徒も多くおり、学力差が広がってきている。生徒に自信をつけさせるために、帯活動などの反復学習を取り入れ、基礎力の定着を図りたい。またグループ活動を通して生徒同士で学び合う場を増やし、意欲の向上につなげていきたい。

3 単元名 TOTAL ENGLISH 3 Lesson 5 “Stevie Wonder -The Power of Music”

4 単元観

この単元では、スティビー・ワンダーの生い立ちと業績、彼の歌に込められたメッセージが扱われている。彼の生き方や活動を理解することを通して、世界へも目を向けるきっかけとしたい。また関係代名詞を用いて、より具体的に人や物を紹介できるように指導していきたい。そこで人や物を紹介する活動において、協働的な話し合いを通して英語への自信を持たせ、英語を使う目的(英語を使って何を発信するのか)を身近な話題にすることで、より学習に対する意欲を高めていきたい。そしてこの後のプロジェクトである「自分の尊敬する人をスピーチ」する活動につなげていきたい。

5 単元の目標

- (1) 自分にとっての大切な歌(歌手)について口頭で発表する。
- (2) 教科書の内容について意見交換する。
- (3) スティビー・ワンダーについて書かれた文章を読み、内容を正しく理解する。
- (4) 間違ふことを恐れず話を続けようとしている。
- (5) 関係代名詞(主格)の文構造を理解する。

※「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標との関連 → 話すこと③、聞くこと②、読むこと①

6 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
① 間違ふことを恐れず話を続けようとしている。	① 自分にとっての大切な歌(歌手)について口頭で発表することができる。 ② 教科書の内容について意見交換できる。	① スティビー・ワンダーについて書かれた文章を読み、内容を正しく理解することができる。	① 関係代名詞(主格)の文構造を理解することができる。

◎「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標(第3学年)

聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
<p>① 自然な口調で話されたり読まれたりする短い英語を聞き、その内容を正確に理解することができる。</p> <p>② 質問や指示、依頼や提案などを聞き、その場面や状況、話し手の意向を理解することができる。</p> <p>③ まとまりのある英語を聞き、その全体の概要や内容の要点を理解することができる。</p>	<p>① ある程度の長さの物語を読んであらすじをつかんだり、まとまった内容の説明文を読んで大切な部分を理解したりすることができる。</p> <p>② ある程度の長さの文章を読み、その内容と自分の経験や考えとの関連、またその主張の優れている点や問題点などをとらえることができる。</p>	<p>① 聞いたり読んだりしたことなどについて、的確な英語でほかの人と話し合い、理解したことを確認したり、意見の交換をしたりすることができる。</p> <p>② あるテーマについて、グループ内での確な英語を使って話し合うことができる。</p>	<p>① 聞いたり読んだりしたことなどについて、的確な英語で自分の考えを伝えることができる。</p> <p>② 自分の意見や主張を基に、与えられたテーマについて簡単なスピーチをすることができる。</p>	<p>① 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、それらとの関連を明確にしつつ自分の考えや気持ちなどがある程度の長さの英語で書くことができる。</p> <p>② 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりや全体としてのまとまりに注意してある程度の長さの文章を書くことができる。</p>

7 単元指導計画及び評価計画

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価場面・方法
第1時	○【5A】関係代名詞 (who) の構造を理解する。 ・3ヒントクイズで関係代名詞の働きに慣れる。 ・グループで理想の友達について話したり、訪ねたりする。	エー①	活動の観察 後日ペーパーテスト
第2時	○【5A】○本文の内容を理解する。 ・T/F や QA などを使いながら、本文の内容を理解する。 ・本文について、意見交換する。	ウー①	活動の観察 ワークシート
第3時	○【5B】関係代名詞 (which) の構造を理解する。 ・マッチングゲームを用いて、which の使い方に慣れ、質問したり答えたりする。	アー① エー①	活動の観察 後日ペーパーテスト
第4時	○【5B】○本文の内容を理解する。 ・T/F や QA などを使いながら、本文の内容を理解する。 ・本文について、意見交換する。	イー② ウー①	活動の観察 ワークシート
第5時	○【5C】関係代名詞 (that) の構造を理解する。 ・教師が作ったワークシートの英文を通して、様々な表現を作り、理解する。	アー① エー①	活動の観察 後日ペーパーテスト
第6時	○【5C】○本文の内容を理解する。 ・T/F や QA などを使いながら、本文の内容を理解する。 ・本文について、意見交換する。	イー② ウー①	活動の観察 ワークシート
第7時	○【5D】○本文の内容を理解する。 ・T/F や QA などを使いながら、本文の内容を理解する。 ・本文について、意見交換する。	イー② ウー①	活動の観察 ワークシート
第8時 (本時)	○【自分の大切な歌 (歌手) について発表しよう!】 ・スティービー・ワンダーの半生を読んで感じたことをもとに、自分にとっての「大切な歌 (歌手)」について口頭で発表する。	アー① イー①	活動の観察 ワークシート

◎CLILの4C(4つの基本原理)からの単元

① 【Content (内容)】	・スティービー・ワンダーの半生について/自分の大切な歌 (歌手) について
② 【Communication (学習言語)】	・新出単語 ・新出文法 (関係代名詞 (主格)) ・既習単語 ・既習文法
③ 【Cognition (思考活動)】	・スティービー・ワンダーの半生を考える。(理解) ・大切な歌 (歌手) を紹介する文を考える。(創造)
④ 【Community (協学)】 【Culture (文化・国際理解)】	・ペア ・グループ ・クラス

8 本時の目標

- ① 自分にとっての大切な歌（歌手）について口頭で発表することができる。
- ② 間違ふことを恐れず、会話を続けようとする。

9 本時の展開

※**S-S** : Students – Students

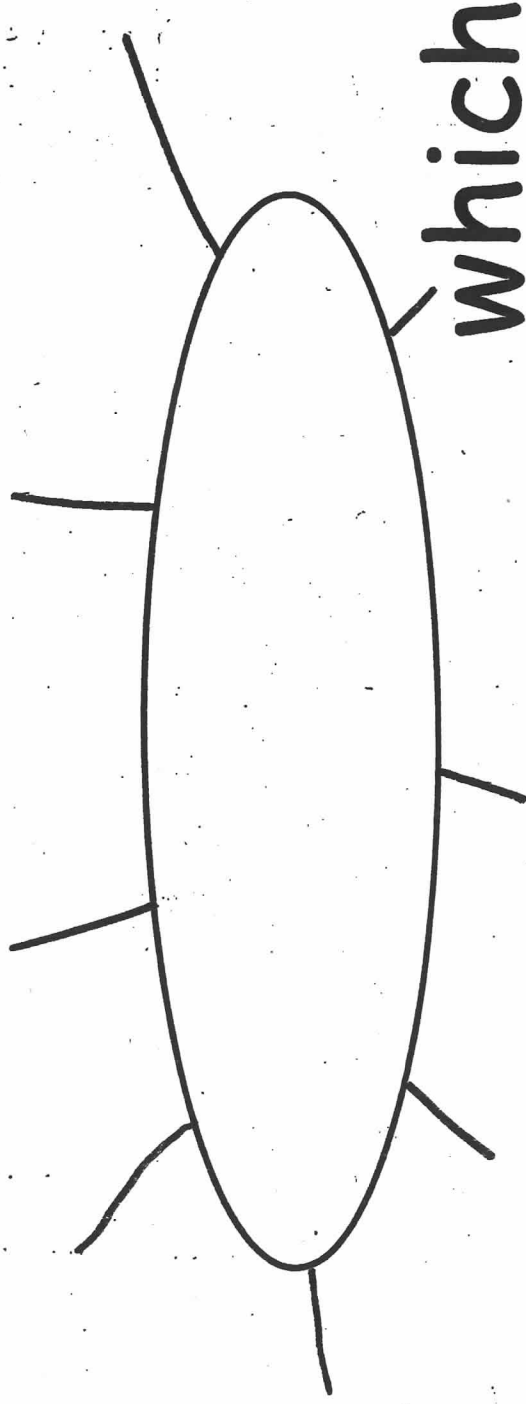
SS : Students (個人の活動)

時間	指導過程	学習活動	指導上の留意点	評価の視点
導入 (10分)	Greeting Song Chat	<ul style="list-style-type: none"> ・英語であいさつをし、日付、曜日、天気を確認する。 SS ・今月の歌を歌う。 ・与えられたテーマについてグループで意見交換する。 S-S 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の雰囲気を作る。 ・机間指導をして、生徒を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動に取り組んでいるか。 ・英語で話を続けようとしているか。
展開 (35分)	校内放送で紹介したい曲をプレゼンしよう。			
	Let's listen! Presentation	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを見ながら、いろいろな人の大切な歌について聞く。 SS ・自分にとっての大切な歌は何かを考える。 SS ・4人グループでお互いの大切な歌について質問し合う。 S-S ・自分にとって大切な歌について mind-map を使って、どう伝えたらよいか考える。 SS ・クラスで発表して投票する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が理解しやすいようにヒントを出していく。 ・活動の目的をわかりやすく提示する。 ・考えやすいように mind-map を使う。 ・例を示して、活動を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・得た情報を理解しているか。 ・話し合いに積極的に参加しようとしているか。
<p>Ex.) I have a song which cheers me up. / The song is "Bad day." I heard the song in an English class for the first time. When I heard it, I felt good. Now the song always makes me happy. Why don't you listen the song?</p>				
まとめ (5分)	Can-Do Check Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。 ・あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、生徒を支援する。 	

10 本時の評価

- ① 自分にとっての大切な歌（歌手）について口頭で発表することができる。
- ② 間違ふことを恐れず、会話を続けようとしたか。

My favorite song



class Name